

八戸市とのIoTを活用した八戸いちご生産に関する共同実証実験について

～いちご生産者の生産性の向上と労働環境の改善を検証～

N T T 東日本青森支店（支店長 井沢 厚、以下「N T T 東日本」）は、八戸市（市長 小林 眞、以下「八戸市」）と連携し、IoT を活用した八戸いちご生産に関する実証実験を行います。

1. 実証実験の背景と目的

八戸市では市川地区において昭和 30 年代から本格的にいちご生産が始まり、現在では県内一の産地が形成されており、その生産振興を図るため八戸市農業経営振興センターにおいて新たな品種や栽培方法等の調査を継続的に実施するとともに、2013 年度からはその販路拡大と販売促進を図るため、「八戸いちごマルシェ」等の情報発信イベントを八戸菓子商工業組合と連携しながら八戸いちごの生産と販売を支援しています。しかしながら、いちご生産者については減少傾向にあり、その解決策の一環として新たに生産性の向上と労働環境の改善を図るため実証実験を開始するものです。

2. 実証実験の内容

農業用 IoT センサー装置を活用したいちごハウスの温度・湿度・土壌水分量等の測定による生産環境の可視化、並びにネットワークカメラを活用した、いちごハウス内の暖房機の稼動状況遠隔監視による見回り業務等の負担軽減や、異常検知のアラート通知による経済損失の回避等に関する実証実験を行います。

<実証実験イメージ>



3. 八戸市と NTT 東日本の役割

<八戸市>

実証実験圃場の提供、実証データの解析と活用に向けた提言

<NTT東日本青森支店>

IoT 機器 (IoT センサー、ネットワークカメラ) の提供、実証データ解析支援

4. 実証実験期間

2019年12月17日～2020年3月31日 (予定)

5. 今後の展開

八戸市との連携を通じ、農業 IoT 技術による生産性向上や収量アップ、品質向上の可能性を探り、スマート農業の推進に寄与していきます。